

主題名： さいごまであきらめずがんばる A希望と勇気、努力と強い意志

資料名： こぐまのらっぱ(東京書籍)

男子14名 女子13名 計27名

指導者 坂本 由香

## 主題について

## ねらいとする価値

自分の目標をもち、その達成に向けて粘り強く努力するとともに、やるべきことはしっかりとやり抜く忍耐力を養うことは、一人の人間として自立し、よりよく生きていくために大切なことである。ここでは、途中で困難や失敗があっても勇気をもってそれを乗り越え、努力することの大切さに気付く、自分が設定した目標を達成しようとする実践意欲を高めることをねらいとしている。また、やり遂げたときの喜びや充実感を味わい、努力した自分を認められる心情を育むこともねらいとしている。

## 児童の実態

- ① 児童は7月に「希望と勇気、努力と強い意志」の内容項目で、自分の目標に向かって一生懸命努力しようとするについて学習した。その際、目標を達成した後も、次の目標に向けてがんばろうとすることの大切さについて考える経験をしている。
- ② 自分のやるべきことの自覚やうまくなりたいという意欲はあるが、困難や失敗があると、それを乗り越えて取り組んでいけずくじけてしまう児童がいる。
- ③ 道徳の時間では、友達の見聞を聞こうとしている児童は多いが、自分の考えをもち、人の考えと比べながら聞いたり、積極的に自分の考えを述べたりできる児童は少ない。

## 教材について

本教材は、演奏会に向けてラップを担当しているこぐまが、上手く音を出すことができずくじけそうになりながらも練習に励み、演奏会本番はうまく演奏ができて、お客さんから大喝采を受ける話である。楽団の一員として、演奏会を聴きに来てくれるみんなの顔を思い浮かべながら練習するこぐまの気持ちを考えていくことで、ねらいとする道徳的価値に迫ることができる教材である。

## 考え、議論する道徳の時間を充実させるために

## ○ 努力のあしあとが見えたり、やり遂げた喜びなどが実感できたりする道徳学習プログラム・学習シートの作成

多くの児童は、興味・関心のあることについては意欲的に取り組むが、好き嫌いで物事を判断し、つらいことや苦しいことがあると、くじけてしまいがちである。しかし、周りの人からの励ましやアドバイスをもらうことで、目標の達成に向けて、困難に立ち向かい、それを乗り越えていこうとする気持ちが強まるとされる。保護者に、通言や懇談会等で、取組のねらいや様子を伝え、児童のやる気が湧いたり根気が続いたりするような声かけをしてもらえるよう協力をあおぐ。そこで、学習シートには、友達やおうちの人などによる他者評価を書き入れたり付箋を貼ったりできるようにする。体育科「うく・もぐる運動遊び」や学校行事のマラソン大会などと関連を図って指導していくことで、道徳の時間に学んだ道徳的実践力を、日常生活での実践につなげるようにする。

## ○ 役割演技

演技的な表現を取り入れることで、学習の展開に参加するだけでなく、登場人物の気持ちを自分との関わりでより深く考えたり、自分の考えを再確認したりするなど、ねらいとする道徳的価値の理解を深めることができると考えられる。そこで、練習をやめようかと考えていたが、練習を始めたこぐまの様子に役割演技を取り入れ、困難を乗り越えてやり遂げようとする心情に気付かせるようにする。

## ○ ねらいとする道徳的価値を理解させるための導入や教材との出会いの工夫

細かい情景描写などよりも、道徳的な観点の心情の変化を捉えられるように、場面絵を提示しながら、読み聞かせをしていくようにする。導入においては、運動会や体育科の浮く・もぐる遊び、器械・器具を使つての運動遊びなどこれまでの活動を課題とし、ねらいとする道徳的価値への問題意識をもたせる。

本時のねらいと授業の展開

本時の学習

(1) 本時の目標

演奏会を終えたこぐまの気持ちを考えることを通して、自分がやらなくてはならないことは、最後まで粘り強く行おうとする心情を育てる。

(2) 本時の学習展開

過程	学習活動 ○主な発問 ●中心発問 ・予想される児童の心の動き	◇指導上の留意事項 □道徳学習プログラムとの関連 □発問の意図 ＊評価
気 付 く	1 水泳や鉄棒運動の時間のことを想起し、これから考えたいことを確かめる。 ○ 練習をしている時、どんな気持ちでしたか。 ・できるようにになりたい。 ・頑張ろう。 ・できなくて、くやしい。 ・うまくいかないから、いやだなあ。 ○ うまくいかないことがあった時やり続けるためには、どんな心が大切なのでしょう。 ・頑張る心。 ・途中でやめない心。	◇ 学習シートを使って、これまでの体験を振り返り、練習を続けたりあきらめずに取り組んだりしたことを取り上げ、めあてにつなげるようにする。
さいごまで、あきらめずがんばることのよさについてかんがえよう。		
と ら え る	2 教材「こぐまのらっぱ」を聞いて、こぐまの気持ちを考える。 ○ らっぱがふけず家の前にすわっているこぐまは、どんなことを考えているのだろう。 【A共感的な発問】 ・なんでぼくだけうまくできないんだろう。 ・できなくていやだな。 ・悲しいな。これじゃ演奏会に出られない。 ・どうしたらうまくふけるようになるんだろう。	◇ 読むことへの抵抗をなくし、話の内容を捉えやすくするために、場面絵を提示しながら、読み聞かせをする。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <b>□発問の意図</b>                          らっぱを用意しながらも、なかなか練習をする気になれないこぐまの気持ちを問うことで、こぐまの落胆していく気持ちだけでなく、迷いの気持ちがあることに気付かせることを意図している。                     </div>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・うまくなりたいな。</li> <li>・できるようになりたいな。</li> </ul> <p>○ 何度も何度も練習するこぐまは、どんなことを考えていたのだろう。</p> <p>【A共感的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すぐにはうまくなれないな。</li> <li>・みんな聞きにきてくれるからがんばるぞ。</li> <li>・少しくまってきたぞ。この調子でがんばるぞ。</li> </ul>	<p>◇ 心情を分類・整理して板書する。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>□発問の意図</b></p> <p>始めはうまくいかななくても練習によって、少しずついい音に変わっていく。【A共感的発問】によって、一度はやめようかとまで考えていた主人公の気持ちが、音色ともに変化していつていることに気付かせたい。</p> </div> <p>◇ 練習を始めたこぐまの様子に役割演技を取り入れ、困難を乗り越えてやり遂げようとする心情に気付かせる。</p> <p>◇ 挿絵や文カードを提示することで、こぐまの心情の変化を視覚的に捉えることができるようにする。</p>
<p>深 め る</p>	<p>3 努力してやり遂げた後の気持ちは、その時の達成感だけではないことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● どうして、こぐまは嬉しい気持ちでいっぱいになったのだろう。</li> </ul> <p>【B分析的な発問】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いい音がなってよかった。</li> <li>・練習したかいがあった。</li> <li>・あきらめずに練習を続けてよかった。</li> <li>・がんばったからできたんだ。</li> <li>・お客さんが満足してくれてよかった。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>発問の意図</b></p> <p>【B分析的な発問】をし、主人公のこぐまを客観的に見ていくことで、演奏が終わった後の喜びには、やり遂げた時の喜びや充実感、これまで努力してきた自分の自覚など様々なものがあることに気付かせることを意図している。</p> </div> <p>◇ 心情を分類・整理して板書する。その際2の学習活動よりも高い位置に板書することで、主人公の心情を視覚的に捉えることができるようにする。</p>
<p>見 つ め る</p>	<p>4 これまでの自分の経験を振り返り、どんな心で取り組んできたか、また、どんな心が大切かを考える。</p> <p>○ 最後までがんばられて、嬉しかったことはありませんか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計算カードが始めは、時間がかかっていたけど、毎日練習することですらすら言えるようになった。</li> </ul>	<p>◇ 学習シートや、写真を見せるなど、様々な体験を想起できるようにする。</p> <p>◇ 児童が困難を乗り越えた経験を話し合い、最後まで粘り強く取り組んだよさについて共感し合えるようにする。また、教師が、「どうしてがんばれたの?」と聞くことで、家族や友達の励ましや称賛などのも</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>水泳のもぐりっこで、顔をつけるのがこわかったけど、お風呂やお父さんとプールで練習したらアルマジロのわざができるようになった。</li> </ul>	<p>とに、頑張った自分があることも気付かせる。</p>
<p>あ た た め る</p>	<p>5 本時の学習を振り返る。 ○振り返りタイムです。「こころのポケット」に入りたいことを書きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がんばって練習するといいことがあることがわかりました。</li> <li>僕は、途中であきらめたら台無しになってしまうから、続けてやるのが大切だと思いました。</li> <li>私は、水泳の時、始めはできなかつたけど、頑張って練習したできるようになって嬉しかったことを思い出しました。頑張ってよかったと思いました。</li> </ul>	<p>◇ 児童には、振り返りの視点をいくつか与え、自分で選択して書くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しく発見したことがありますか。</li> <li>自分がこのようにしたいことがはっきりしましたか。</li> <li>どんなことがむずかしいとおもいましたか。</li> </ul> <p>◇ やるべきことをしっかり行うことができたり、努力した自分に気付くことができたりしている児童の意見を紹介する。</p> <p>* 困難や失敗があってもそれを乗り越えて目標を達成しようとする心情を高めているか。（ワークシート、発言）</p>